



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
 URL:http://www.mokusankyō.jp
 E-mail:yamawood@mokusankyō.com



目次	1 地域の成長産業としての取り組み	4 会議・イベント・お報せ
	2 素材共同販売の状況	5 2 月期住宅着工動向
	3 酒田飽海支部で講演会を開催	

1 地域の成長産業としての取り組み

(1) 中学生向けの出張職業体験会への参加

3 月 2 日、「shin-job 体験 in 新庄中学(1 年生 82 名)」が開催され、木産協青年部の小関大祐君のグループが中学生を対象に林業体験を指導し、大きな関心を持ってもらうことができた。この取組は、新庄みらいの担い手育成プロジェクト実行委員会が初めて主催し、14 の業種から、地域の主要企業(警察・消防署・病院も含む)が参加した。林業・木材産業からは、上記の(有)小関興業が唯一参加し、こちらも若手職員を前面に押し出しての体験会としている。森林作業の作成動画の見学及び鋸とチェーンソーによる鋸断体験でその効率性を実感していただく等大いに盛り上った。

最近では、高校入学前に、自分の進路をはっきりさせている子供も存在しており、中学生向けに体験会を行うことは大切な事と考えている。このような機会があった場合は、組合員の皆様は是非お受けし、ご参加下さいます様お願い致します。

木産協は木製記念品の提供等でも応援している。



【説明状況】



【鋸・チェーンソー体験】

(2) 県立農林大学校の合同会社説明会への参加

昨年 4 月に開講した県立農林大学校「林業経営学科」では、県内の林業・木材産業関連企業等の平成 30 年 4 月の新卒者採用計画情報を持ち合わせていないことから、県林業振興課及び山形県木材産業協同組合等から協力を得て、3 月 15 日に大学校研修施設「緑風館」において標記説明会を開催した。

説明会には、24 社が参加し(うち木産協系 15 社)、就職活動デビューとなる学生達は、それぞれ各ブースを回り、求人内容や雇用条件、会社の人材育成方針などを真剣に質問していた。

今後の流れとして、学生が希望した場合には団体を通してインターンシップを依頼し、マッチングが整ったものから就職内定に進めていく予定となっている。

1 期生 15 名の学生達が昨年の 4 月に入校して、はや 1 年が経過し、次第に実力を培ってきている中で、多くの企業が求人説明会に参加したことは、学生への大きな励みとなると共に業界の PR や若年労働力の確保の上でも、着実に大きな影響を与えるものと考えている。



【学生の紹介】



【合同説明会状況】

2 素材共同販売の状況

協和木材等への安定供給組織の設立については、現実には円滑な納入が確保できている事等から、棚上げとなっており、H29 年度は、原木流通協議会を納材各団体等からなる情報交換組織として継続する方向にある。木産協も応分の負担金を拠出しながら対応することとしている。

さて、現時点での素材の共同納材については、組合員の結束の下に、過去最大の量が見込まれている。(これ以外に個々の企業としての納材もあるが木産協としては把握していない)

なお、共同納材参加の組合員は 19 社となっている。需要者側への納材は次のとおり。

需用者 企業名	セイホク グループ	協和木材 グループ	他 2 社 (用材)	鶴岡バイ オマス	最上木質 エネルギー	DS グリーン 電発米沢	A 製材所 (北港)	他発電 2 社	他熱利用
納材量	4,790m ³	12,950m ³	1,390m ³	2,190t	6,510t	7,720t	3,160t	360t	6t

このように、用材は 2 万 m³、木質バイオマスも 2 万 t をうかがう位置にある。(3 月 27 日現在) 名実共に、素材供給の県内最大組織としてその地位を確保しつつあり、評価も今以上に高まってくると考えている。組合員の皆様の御尽力に御礼申し上げます。

順調に見える中で、検討すべき課題も様々存在しており、次の点にご留意願いたい。

- (1) 木質バイオマス発電に対する供給では、「間伐に由来する材」「一般材」等の証明が必要であり、共同納材する方は、伐採の前に、どの区分の材になるか、証明の仕方等について木産協に必ずご相談願います。(規制が益々厳しくなります。転ばぬ先の杖です)
- (2) 木質バイオマス発電については、県内 8 箇所の計画に基づき、次々と素材集荷の動きがあり、価格競争が始まっている。これに安易に乗ることなく、地域の C・D 材資源は原則的に地域で活用する視点をお持ち下さるよう願います。いたずらに価格に振り回されると予期せぬ事態が発生する場合があります。
- (3) 木産協は、組合員生産材の出荷先について、様々な需要者側に働きかけ、現在は、10 を超える数になっており、樹種も拡大している。また、木産協の手数料は組合員の皆様の経営を圧迫する額では決してないはずですので、これまで以上に組合をご活用願います。

3 木材利用新時代講演会を開催(酒田飽海支部)

2 月 22 日(水)、酒田市港南コミュニティセンターを会場に標記講演会を開催した。「森林資源を活用した地域活性化条例制定」及び、「酒田市木材利用促進基本方針の策定」が昨年 12 月から施行されたことから関心が高く、酒田・飽海地域の木材産業事業者等 50 名の参加があった。



【講演会状況】

講演会の状況は次のとおり。

- (1) 演題：「山形県の豊かな森林資源を活用した地域活性化条例制定」定義の主旨解説
講師：県庄内総合支庁産業経済部森林整備課 古川 和史氏(課長)
- (2) 演題：「酒田市木材利用促進基本方針の策定」主旨解説
講師：酒田市農林水産部農林水産課 本間 優子氏(課長)

講演では両課長共に木材利用促進の実効確保への決意表明の感もあった。参加者との意見交換では、木質化への利用について供給立木の場所、林相・品質について明確な情報の提供の要請及び条例及び基本方針については、宣言に止まらずに実効ある公共事業にすべき等の意見が寄せられ、これに対し、県は平成 29 年度に再生林への補助 100% 予算計上していることや、市は木質(造)化について最優先の事業計画とし、しかるべきコストへの考慮もはらう旨の返答があった。

(酒田飽海支部事務局)

4 会議・イベント・お報せ

1	<p>木産協三役会議等の開催 年度当初の恒例の挨拶廻り及び理事会等に向けた三役会議を開催し、事業計画及び執行体制等について検討協議する。 日 時：4 月 6 日(木)14 時半～ 会場：山形市内催事場 その他：挨拶廻りは、県庁関係課、関係団体等。理事長、副理事長等出席。</p>
2	<p>(株)やまがた中央木材市場「開設記念市」 4 月 6 日(木)13 時～</p>
3	<p>(株)山形城南木材市場「創立記念市式典」 4 月 7 日(金)12 時 製品セリ 13 時～</p>
4	<p>グリーンクラブ支部 (松田賢会長) 総会への出席 寒河江市、天童市、河北町の組合員で構成される標記支部の定例総会が開催され、本年度の事業計画等について検討・協議する。 日 時：4 月 11 日 17 時～ 会 場：寒河江市内催事場 木産協事務局も出席予定</p>
5	<p>山形県森林協会役員会への出席 日 時：平成 29 年 4 月 25 日 (火) 13 時半～ 会 場：あこや会館 201 会議室 (山形市) その他：木産協からは阿部理事長 (協会副会長) が出席予定</p>
6	<p>木産協役員会の開催 三役会議を踏まえて、定例総会に向けた事業計画及び役員改選年度であることから執行体制等について、検討・協議する。 日 時：4 月 26 日 (水) 15 時～ 会 場：ホテルメトロポリタン山形 その他：役員 (理事・監事) には別途ご連絡いたします。</p>
7	<p>協和木材株式会社 新庄工場 落成式への出席 県内最大の木材加工工場となる標記新庄工場の落成式に際して、同工場の佐川社長から木産協へのご案内をいただいたことから、理事長が出席する。また、別途ご案内を受けた素材生産関係組合員も出席予定。 日 時：4 月 27 日 (木) 正午～ 会 場：ベルフォール新庄玉姫殿 その他：見学者も多いことから、同工場の所在をお報せします。 新庄市大字福田字福田山 711 番 145 号、Tel.0233-32-0700</p>
8	<p>山形県プレカット協会 (松田賢会長) 定例総会への出席 昨年度結成された、標記協会の定例総会が開催され、本年度の事業計画等について検討協議される。昨年度はパンフレット等の作成や山形空港事務所の木質化等の推進に取り組んでおり、今年度からの飛躍的活動が期待されている。 日 時：4 月 28 日 (金) 17 時～ 会 場：山形国際ホテル会議室 その他：木産協は事務局を受託している。</p>
9	<p>木産協定例総会の開催 第 43 回定例総会を開催します。事業も毎年増加し、注目を集めている皆様の組合ですので、ご出席をお願いいたします。 日時：5 月 26 日 (金) 15 時～ 会場：メトロポリタンホテル山形 内容：事業報告・事業計画の他、役員改選等</p>
◎	<p>職員の人事 5 年間専務理事を務めた大隅尚行が退職となり、前県森林研究研修センター所長の鈴木健治が総会までの間、事務局長として就任しました。</p>

5 2月期の住宅着工状況

2月動向では昨年を上回っており2×4等の都市部での貸家着工が牽引している感じがある。また、郡部の着工は相変わらず少ないが、地域自治体の定住化を目指す住宅施策等の新しい動きもあり今後注目される。昨年と比較して勢いは弱い、4月後半以降の動きが活発化している話もあり今後に期待。

1 県内新設住宅着工戸数(平成 29 年 2 月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
2月	274	171	59	0	44	270	4	249	90.9%	155	4	90
28.1~2	605	306	191	1	107	600	5	529	87.4%	324	11	194
3月	388	206	135	0	47	385	3	330	85.1%	214	7	109
4月	447	309	87	4	47	443	4	419	93.7%	310	16	93
5月	423	291	66	2	64	418	5	386	91.3%	297	5	84
6月	541	325	165	0	51	527	14	456	84.3%	354	13	89
7月	648	348	215	1	84	637	11	548	84.6%	382	16	150
8月	491	288	171	2	30	472	19	430	87.6%	272	11	147
9月	501	249	205	2	45	501	0	440	87.8%	289	8	143
10月	652	252	329	2	69	645	7	526	80.7%	348	6	172
11月	515	256	173	0	86	509	6	414	80.4%	298	9	107
12月	464	216	193	2	53	455	9	397	85.6%	282	7	108
29.1月	243	144	69	1	29	243	0	207	85.2%	164	4	39
2月	282	164	74	1	43	279	3	257	91.1%	153	8	96
対前月比	116.0%	113.9%	107.2%	100.0%	148.3%	114.8%	-	124.2%	-	93.3%	200.0%	246.2%
対前年同月比	102.9%	95.9%	125.4%	-	97.7%	103.3%	75.0%	103.2%	-	98.7%	200.0%	106.7%
28.1~当月計	605	306	191	1	107	600	5	529	87.4%	324	11	194
29.1~当月計	525	308	143	2	72	522	3	464	88.4%	317	12	135
対累計前年比	86.8%	100.7%	74.9%	200.0%	67.3%	87.0%	60.0%	87.7%	-	97.8%	109.1%	69.6%

2 地域別新設住宅着工戸数(平成 29 年 2 月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	282	525	102.9%	86.8%	464
山形市	99	191	150.0%	108.5%	170
上山市	17	19	242.9%	172.7%	18
天童市	29	57	145.0%	101.8%	46
山辺町	4	5	66.7%	71.4%	5
中山町	1	3	12.5%	15.8%	3
東南村山	150	275	140.2%	102.2%	242
寒河江市	6	11	100.0%	64.7%	9
河北町	3	6	-	600.0%	6
西川町	0	0	-	-	0
朝日町	0	0	-	-	0
大江町	0	0	0.0%	0.0%	0
西村山郡	9	17	100.0%	77.3%	15
村山市	2	4	14.3%	25.0%	4
東根市	36	41	116.1%	64.1%	35
尾花沢市	0	0	0.0%	0.0%	0
大石田町	0	0	-	-	0
北村山	38	45	79.2%	54.2%	39
村山地域	197	337	120.1%	90.1%	296
新庄市	0	2	0.0%	14.3%	2
金山町	0	0	-	-	0
最上町	0	0	-	-	0
舟形町	0	0	-	-	0
真室川町	0	0	-	-	0

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	0	-	-	0
鮭川村	0	0	-	-	0
戸沢村	0	0	-	-	0
最上地域	0	2	0.0%	14.3%	2
米沢市	12	40	133.3%	142.9%	26
南陽市	7	13	350.0%	118.2%	13
高島町	3	4	150.0%	40.0%	4
川西町	1	1	50.0%	50.0%	1
東南置賜	23	58	153.3%	113.7%	44
長井市	2	15	200.0%	150.0%	14
小国町	0	1	-	-	1
白鷹町	3	4	-	133.3%	4
飯豊町	0	1	0.0%	50.0%	1
西置賜	5	21	166.7%	140.0%	20
置賜地域	28	79	155.6%	119.7%	64
鶴岡市	27	58	57.4%	84.1%	57
三川町	1	1	33.3%	25.0%	1
庄内町	8	11	400.0%	220.0%	10
田川	36	70	69.2%	89.7%	68
酒田市	21	37	60.0%	50.7%	34
遊佐町	0	0	-	-	0
飽海	21	37	60.0%	50.7%	34
庄内地域	57	107	65.5%	70.9%	102

注:累計は平成 29 年 1 月~

